



## 桜満開の中で第78回入学式を挙行しました

4月10日（水）に第78回の入学式を行いました。今年度は、久々に桜の花が満開の中で126名の新入生を迎えることができました。新入生126名全員が出席し、中学校生活のすばらしいスタートとなりました。新入生代表塙さんの誓いの言葉どおり、中学校生活を充実したものにしてほしいと思います。

また、生徒会長片岡さんの歓迎の言葉をはじめ、在校生の態度もすばらしいものでした。



## 「愛の鈴」の贈呈式

4月12日（金）に笠間市更生保護女性会の代表者が来校し、1年生に「愛の鈴」をプレゼントしてくれました。「愛の鈴」は会員の皆様の手作りで「いつだって あなたを見守る ひとがいる」というメッセージカードが添えられています。ぜひ、大切にしてほしいと思います。



## 笠中生にすすめたい一冊の本 ⑱

今回は、恩田陸の直木賞受賞作「蜜蜂と遠雷」を紹介します。この本は、本屋大賞にも輝き、映画化もされました。

本の舞台は、日本で3年ごとに開催される芳ヶ江国際ピアノコンクール。「ここを制した者は世界最高峰のS国際コンクールで優勝する」ジンクスがあり近年、覇者である新たな才能の出現は音楽界の注目の的となっていた。話題の4名は、養蜂家の父とともに各地を転々とし自宅にピアノを持たない少年・風間塵15歳。かつて天才少女として国内外のジュニアコンクールを制覇しCDデビューもしながら母の突然の死去以来、長らくピアノが弾けなかった栄伝亜夜20歳。音大出身だが今は楽器店のサラリーマンでコンクール年齢制限ぎりぎりの高島明石28歳。完璧な演奏技術と音楽性で優勝候補と目される名門ジュリアード音楽院のマサル・C・レヴィ＝アナートル19歳。天才たちによる、コンペティションという名の自らの闘い。今、その火蓋が切られた・・・。

昨年の4月にも書きましたが、恩田さんは私の水戸一高時代の同級生です。今年も最初に恩田さんの作品を紹介することにしました。

※ このコーナーで紹介した本は、図書室に置いてあります。

